

東海道本線 野田新町駅～刈谷駅間における仮設材の落下について

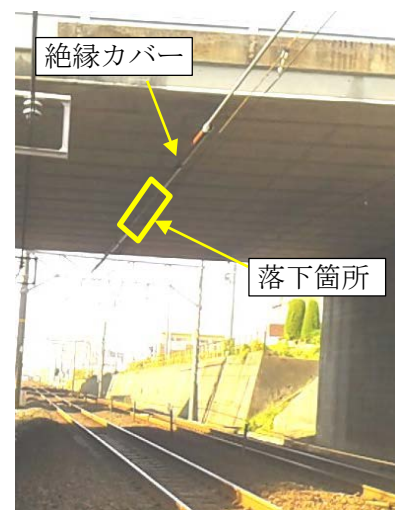
1. 発生日時 平成29年11月10日（金） 11時55分頃（発見）
2. 発生場所 東海道本線 野田新町駅～刈谷駅間
3. 概況
- ・東海道本線 野田新町駅～刈谷間で、下り新快速列車（豊橋駅 11:21 発、大垣駅 12:46 着、8両編成、乗車約200名）が線路上にある支障物と接触したため、車両及び線路等の安全確認を行いました。
 - ・その後、電線の取替工事を行うために仮設していた電線に取り付けていた絶縁カバーが線路上に落下し、列車と接触したことが判明しました。
 - ・当該列車に乗車中のお客様のお怪我及び当該車両への損傷はございません。

※絶縁カバーとは、仮設した電線を絶縁し、防護するための物であり、外れた状態でも安全上問題はありません。

4. 列車影響
- ・遅れ 上下計14本（下り7本、上り7本） 40分～17分
 - ・影響人員 約3,200名
5. 落下物の詳細
- 絶縁カバー（2本）
- ・重さ 4.4kg（1本あたり2.2kg）
 - ・大きさ 長さ約2.0m 直径約10cm
 - ・材質 ポリエチレン



落下したものと同一絶縁カバー



絶縁カバー取付状態

6. 原因 詳細は調査中です。